

## ぼくの大切なもの

母の外での顔は、

復元納棺師。

事故や災害などで傷ついた遺体を

家族の思いをくみ取り、

生前の姿と重ね合わせて

復元する仕事だ。

東日本大震災後は、

亡くなった人とその家族のために、

復元ボランティアとして

大忙しだ。

母の家での顔は、

料理の達人。

特に、

母が作った「そばろご飯」は、

どんな有名レストランの

看板料理もかなわない。

今は三日に一日ぐらいしか

一緒にいることはできないけれど、

その味が

ぼくと母をつないでいる。

外でも、家でも、

家族を大切にしている母。

そういう母を

ぼくも大切にしていきたい。